

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174300467	
法人名	医療法人社団 信診連	
事業所名	グループホームあつたか家	
所在地	北海道川上郡弟子屈町鈴蘭1丁目8番1号	
自己評価作成日	令和4年9月10日	評価結果市町村受理日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療法人の特性を生かした各専門分野の連携があります。法人理事長(主治医)の毎日の訪問による健康チェック、同法人看護師の訪問による定期採血、健康診断、患部の治療、同法人作業療法士によるリハビリ体操を2週間に1回実施。健康管理を協力して行っております。地域に密着した医療法人であることで、ご家族の安心感、主治医への信頼関係の構築により、ホームで看取りや重度の方の入院病院への情報提供を行っております。コロナ対策として状況に応じて外部からのコロナウイルス予防面会制限や換気、消毒など心がけています。誕生会や季節に応じて作品作成し、町民文化祭に出品。家事なども積極的に入居者様へお願いしております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kajokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0174300467-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	令和4年11月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は弟子屈町静かな住宅街にあり、周囲は主要幹線やJR摩周駅が近いので交通の便もよく、スーパーやホームセンターにも恵まれ、観光拠点「道の駅摩周」等華やかさもあるなど、生活環境が整った地域に立地している。事業所は1ユニット9人で、居住する建物は塙に囲まれた大きな邸宅を活用しており、広い敷地内を利用して来客用の駐車スペースも用意され、また四季を通じて庭での花壇や野菜作り、日光浴や散歩などにも適しており、敷地内での活動は利用者の楽しみとなっている。母体法人は弟子屈町で古くから地域医療を担ってきた医療法人で、2004年に地域の要望に応じて開設、医療やグループホーム、デイ、居宅事業所、ヘルパー派遣、訪問看護等を展開しており、連携が取れた医療と介護の総合的な視野で地域を担っている。当事業所の優秀な点は、母体である医療法人の手厚い支援、医療機関との連携が挙げられる。具体的には主治医の毎日の回診、定期的な看護師の採血を含めた健康管理、作業療法士の訪問リハ等々の幾重もの健康への備えは利用者や家族だけでなく介護員にも強い信頼感を与えている。また医療体制の充実もホームでの看取りや他院への適切な入院、責任ある情報の提供とあらゆる面を想定し、いかなる場面でも対応できる状況を常に確保している医療と介護のスタッフを高く評価したい。数年に及ぶコロナ禍で、1ユニット9人である家庭的な特性を生かした当事業所の今後にも大いに期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づくケアプランを作成し、援助を実施しています。月1回の職員会議で状況を確認、見直しております。	理念の実践について、会議や申し送り時にも気が付いた点を話し合い、新人職員の研修時にも、事業所の基本姿勢として習得するよう伝えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の加入、回覧板での確認しております。散歩の際に声をかけていただいたり運営推進会議に民生員さんに参加していただいています。	コロナ禍で中断もあるが、地域の一員としてカラオケの会に加入したり、幼稚園児と集ったり等々各行事にも参加している。散歩の途中で話し込んだり、花を貰ったりと日常的な交流が続いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の認知症勉強会などの参加、社会福祉協議会、役場との情報交換会できている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスで運営推進会議開催が危ぶまれていたが役場、社会福祉協議会、民生委員との情報提供により、新しい情報を得ている	コロナ禍であり、実際に顔を合わす会議等は困難だが、各連携機関の協力により文書で情報を交換するなどの書面開催でサービス向上に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	弟子屈町からの情報提供を得ており、運営推進会議の際には役場から町職員がきて頂いております。	弟子屈町と協力関係が築かれており、町からの実施指導も毎年のように行われ円満な運営となるよう支援を受けている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3か月に1回の身体拘束廃止委員会、職員会議にて身体拘束廃止についての研修、各入居者様の対応の見直しをしております。	身体拘束廃止委員会でケアの適正化に向けた指針を作成し介護の基本に据えている。また3ヶ月ごとに定期開催して介護の現状を点検し、事例検討も重ね、論議した内容は直近の会議で職員に徹底周知している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止研修、職員のストレス、アンガーマネジメントにも目を向け行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会との連携、生活保護の金銭管理などを通してアドバイス頂いている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際の説明、サインをきちんと行い、疑問がある際には電話、訪問にて質問対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様は職員から管理者又はセンター長へ意見が通るようになっており、会議の際に話し合う事もあります。電話や利用料の支払いの際には面会やスタッフ、管理者との話しやすい環境にあります。	毎月の来訪時や各種報告時に意見の聴取や苦情の汲み上げに努めている。また意見箱も用意し、重要事項説明書にも苦情の受付窓口を明記し、いつでも家族意見を聞ける態勢で臨んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は常に職員とのコミュニケーションに留意し、会議での個々の意見を聞き、法人の管理会議で代表者へ伝わるようセンター長も会議に出席しています。	職員とのミーティングや職員会議、個別面談などを通して意見を反映させるように、努めている。またセンター長は法人の会議にも出席し意見の提案、反映に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は毎日ホームを訪れ職員とのコミュニケーションを図っており、給与・労働条件の改定や福利厚生の見直しに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会議時の勉強会、資料配布をしており、研修会案内も掲示しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の事業所同士でのコミュニケーションや病院、社会福祉協議会、町の福祉課の方々とのコミュニケーションを行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当時の事前の関係事業所からの情報提供やアセスメント、家族様からの情報、本人からの訴えなどを聴取できるよう担当職員の配置や書面、会議での情報収集を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との面談を随時設けて、要望等の確認をしております。家族に対する支援も重要視する体制に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時は、ニーズを見極め対策をご本人、ご家族と共に検討し、必要時には他のサービスの説明も行い、話し合いが出来るように努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	運営理念に沿った援助を実践することが支えあう関係に繋がり、同じ時を過ごしながら「与える・そして与えられる」信頼関係作りを継続していけるよう心がけております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への連絡は随時行っております、運営推進会議の出席ご案内、一部コロナ禍で制限はありますが面会も行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などの来訪があります。コロナの感染状況も考慮しながら面会の受け入れ等を行っております。	小さな町であり馴染の場や関係性も限られているが、買い物や美容室、友人知人について、コロナ禍であるが大切にしよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールに居ることが多く、力量にあった手作業やレクリエーションなどをテーブルを分けて提供しています。その日の体調、気分なども考慮して提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了まできちんと対応を行い、手作業などの物品なども提供していただいている。過去の入居者情報なども保管している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝の調子を聞きながら日々のスケジュールを変えています。本人の意思決定を大事に表情なども伺いながら過ごしていただいている。	朝の体調など日常生活の中から思いや意向を把握し、それがケアに繋がるように努めている。把握できない現実も理解し、見えないことは本人本位で対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去のケアマネジャーからの情報やご家族様からの聞き取りにより本人の生活歴等を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の引継ぎノート、毎日のアセスメントシートを用いながら行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人視点での意向を介護計画に反映するため、ケアマネを中心として3か月ごとに会議手計画を見直しております。安全確認については日々引継ぎにて確認しております。	3ヶ月ごとにモニタリング等を集約し、家族や意向や医療の見地を踏まえ、カンファレンスを重ねている。また病気での変更が生じた場合は、直ぐに対応変更し、常に現状に即した計画になるよう、取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画にそったケアを行っており、担当職員をはじめ、切れ目のない援助にしっかりと引継ぎをしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の特性を活かし、OTの体操、各事業所からの応援体制も備えております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域柄、町内会や消防訓練時にはアドバイスをいただき地域との結びが途切れない様おこなっております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の医師の毎日のバイタルチェックや把握により他の病院などにも紹介状や記録の提供などでつないでおります。	利用者全員が母体法人のクリニックとなっており、毎日主治医が様子を見に来ている。法人の作業療法士によるリハビリも定期に実施し、看護師の相談も随時受け付けて、誰もが安心できる医療体制で日々臨んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当法人の医療機関より適時看護師が訪問し、入居者の状態を把握しております。また職員の相談にも随時指導を受けております。たい両機関との連携にも協力されております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当法人の医師・看護師が情報提供を行い、入退院時には家族・管理者が担当者との情報交換を行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアについてのご本人、ご家族の意向を書面にて確認し、状態の変化に応じて随時家族、医師、センター長、管理者との話し合いにて方針を共有しております。	看取り介護の指針を契約時に説明し、本人や家族が望まれるなら最後まで寄り添う旨を伝えていく。終末期の医療が必要となった際は家族と主治医と事業所とで話し合い、適切な方法手段を共有し、チームで対応できる様日頃から研修等で取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの確認や連絡先がすぐに見れる位置に配置しております。医療との緊急時の連携もすぐに対応出来るように構築されております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防の避難訓練時や運営推進会議にて民生委員、町の方などと協力体制を築いております。	年2回の災害訓練を火災想定で行い、地域住民の参加は、仕事の時間帯なので多くの参加は得れないが、町内会の役員等々の協力を得て実施している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとりひとりの尊厳を守ることを理念にかかげており、そのひとらしさを大切にしていこうとここ	プライバシーの尊重について、職員はいつも、声の抑制はないか、態度での威圧はないか、甘えや慣れはないか、お互いに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	待ちの姿勢でその日の気分なども聞きながら無理のない家事手伝いなどをしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者優先で場合によってはスケジュールを変えたりしながら臨機応変に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪のリクエストや化粧品なども好みの物を選んでもらい、出来るところではご自分で行っていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いなどの聞き取りを行いながらバランスの良い食事を提供しております。	調理の下ごしらえや、下膳と食器洗いなど、出来る人や興味のある人をお願いしている。料理も希望を多く取り入れ、また職員も食卓に着き、臨機応変で楽しい食事を目指している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	疾患などの減塩、食事調整を確認しながら水分記載もしっかり行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者一人ひとりの口腔内を把握し、適宜あった洗浄用具を用いて3食後の声掛けを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	アセスメントシートを用いながらのトイレの声掛けや時間帯によってパット、パンツを工夫して提供している。	トイレでの排泄を目指しており、利用者一人ひとりの排泄サインを見逃さずに誘導等支援し、排泄の自立を目指して取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	早朝には牛乳、野菜なども考慮しながらなるべく食事にてのコントロールと病院との連携にて薬を調整している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴タイミングは難しいことはあるが本人の入浴の有無を声掛け確認しながら行っている、	週に3回の入浴に取り組んでおり、それ以外も清拭や足浴等も必要に応じて実施し、また拒否者には無理強いすることなく、時間や介護員に変化をつけ楽しいお風呂になるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一斉に就寝ではなく本人の希望により就寝介助しております。時には話なども聞くこともあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は病院と連携をし、アセスメントシートなどで日々の食事、飲水量、排尿、排便なども報告しながら慎重に管理している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所前の基本情報や本人の体調なども聞きながら家事や、出来る事はなるべくやってもらうよう声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染拡大防止のため制限はあるが家族様と連携をとり受診や必要なことを行っていただいている。天気の良い日は散歩なども一緒に行っている。	コロナ禍で自由な外出は困難な状況であるが敷地内の活動を充実させ、閉じこもらない介護を実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金を所持して使用する機会がない状況にあります。本人が必要とする際には施設で管理しているお金を使用できる体制にあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話することはありませんが、かかってきたときには取り次ぐこともあります。お手紙等は代読、保管しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部には季節に応じた展示物があり、季節のお花なども飾ってあります。カーテンや照明など採光にも気を付けて、猛暑や湿度管理にエアコンも使用することがあります。日めくりカレンダーなども常設してあります。	大きなお屋敷を改造しており、それ自体で落ち着いた雰囲気の中で生活をしている。居間兼食堂は広く開放的で観葉植物も置かれて、温度や湿度も適性に保たれている。また季節感のある飾りつけや生花もみられ、居心地のよさが感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルが2テーブルあり、ソファ、畳の小上がり等で来客の際には活用されております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの家具や家族様の写真や誕生会写真など掲示してあります。作成した作品なども掲示してあります。	居室は広く、明々としており、ゆっくりとくつろげる空間となっている。部屋によっては、仏壇や家族写真などもみられ、安心して暮らせるように努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	殺風景にならない程度に安全に気を付けて床に物を行いように気を付けております。トイレや居室などにもわかりやすいよう名前や場所の名前などを記入しております。		